

ヤクシマサルスベリ

[木本] 《忌避》



主に林縁で見られる。



葉は対生または互生する。



枝先の花序に白い花を多数付ける。

区別のポイント

葉は対生することが多い。樹皮が赤褐色と淡褐色の斑模様になる。

形態 落葉高木。高さ 20 m。

分布 屋久島・種子島・奄美大島

名前の由来

- 葉** **〈全体〉**卵状長楕円形で長さ 6 ～ 10 cm。
〈付き方〉対生または枝先でしばしば互生。
〈葉柄〉長さ 2 ～ 3 cm。
〈基部〉くさび形～円形。
〈葉先〉やや尾状に伸びて尖る。
〈縁〉全縁。

備考

出典 4, ※